

「第 10 回 愛媛県勤労者定期観測調査」報告書 (2016 年 5 月調査)

2016 年 9 月 28 日

[はじめに]

一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会では、愛媛県内勤労者の福祉を推進するための基礎資料を得ることを目的に、県内勤労者を対象にした景況調査を実施しています。当報告書では、2016 年 5 月に実施しました「第 10 回調査」の結果を報告します。調査にご協力いただいた加盟団体・事業所、ご回答いただいた方々に厚くお礼申しあげます。

[調査概要]

- ① 調査名称：愛媛県勤労者定期観測調査（愛媛県勤労者短観）
- ② 調査対象：一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会に登録する 110 団体・事業所の勤労者
- ③ 調査項目：勤労者の景況感、仕事の現状、暮らし向き等
- ④ 調査実施期間：年 2 回 5 月・11 月、第 10 回調査 2016 年 5 月 1 日～5 月 31 日
- ⑤ 回答数：第 10 回調査登録者数：477 名、回答者数：321 名、有効回答数：321
- ⑥ 調査方法：質問票によるアンケート調査(郵送調査法)

[主な調査結果概要・総括]

1. 業況 県内勤労者からみた愛媛県内の業況 DI は、僅かに下落。業種別では、製造業で改善、非製造業で下落となり、格差がみられた。（問 1）
2. 労働時間 労働時間 DI はやや上昇。（問 3）
3. 賃金 賃金収入 DI はやや下落。製造業の上昇が続いているが、横ばいに。（問 4）
4. 暮らし向き 世帯の暮らし向きは、上昇傾向から反転し下落へ。（問 9）
5. 生活の満足感 生活の満足 D I はほぼ横ばい。（問 10）

6. 総括

今回調査時（2016 年 5 月）の勤労者からみた愛媛県内の業況は、改善傾向が続いていた前回調査時（2015 年 11 月）から足踏み状態にある。賃金収入についても、前回調査時に改善がみられていたが、今回はみられなかった。

全体としては、前回第 9 回調査で一定程度実現されたとした「賃金収入の改善」は、拡がりをもつまでには至らず、暮らし向きにも明るい展望を与えるには至らなかつたと推測できる。今後、業種や規模を越えた賃金収入の拡大が望まれる。

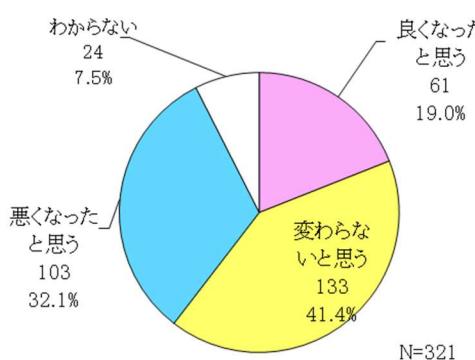
[調査結果]

1. 勤め先の経営状況

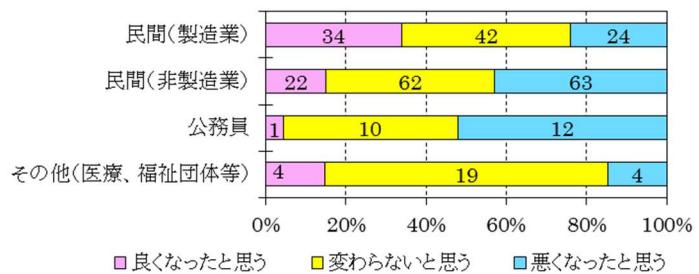
第10回調査では、「勤め先の経営状況」について「良くなったと思う」と「悪くなかったと思う」の割合がそれぞれ僅かに増加した。前回調査同様に、業種別では製造業が、規模別では規模が大きいところほど、勤め先の経営状況への見方が良好であった。全体でみた経営状況DIは僅かに下落（2.0ポイント下落）。業種別にDIをみると、製造業では上昇（9.3ポイント上昇）、非製造業では下落（4.7ポイント下落）しており、勤労者からみた愛媛県内の業況は、業種間で格差の開いた。

た。

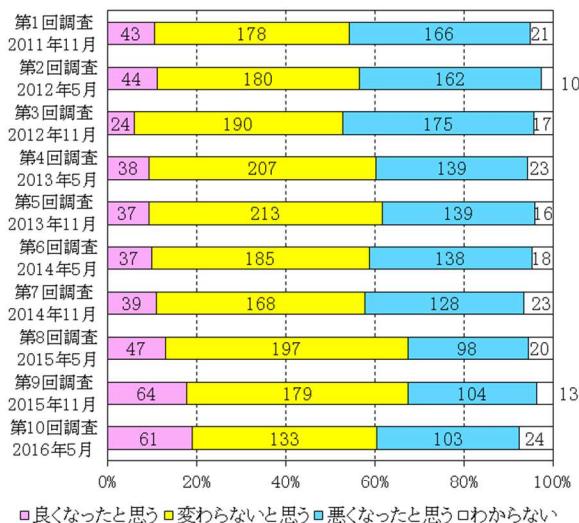
問1 勤め先の現在の経営状況
(1年前と比べて)



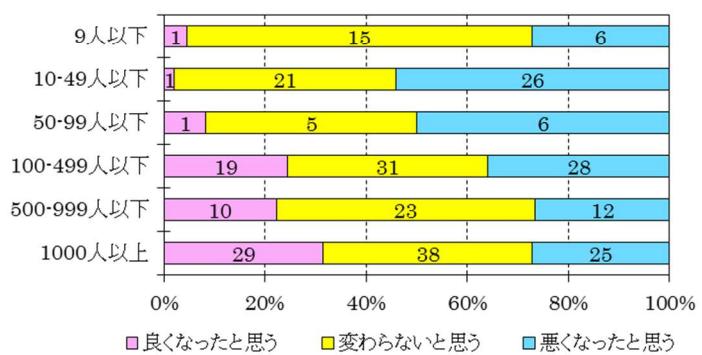
業種別にみた勤め先の経営状況(1年前と比べて)



問1 勤め先の現在の経営状況(1年前と比べて)

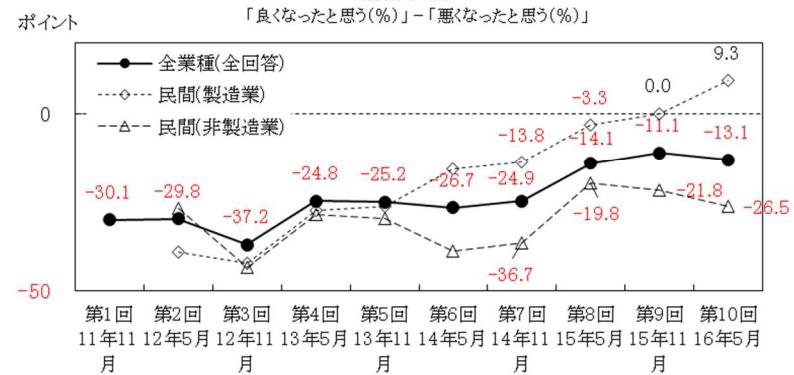


従業員数別にみた勤め先の経営状況(1年前と比べて)



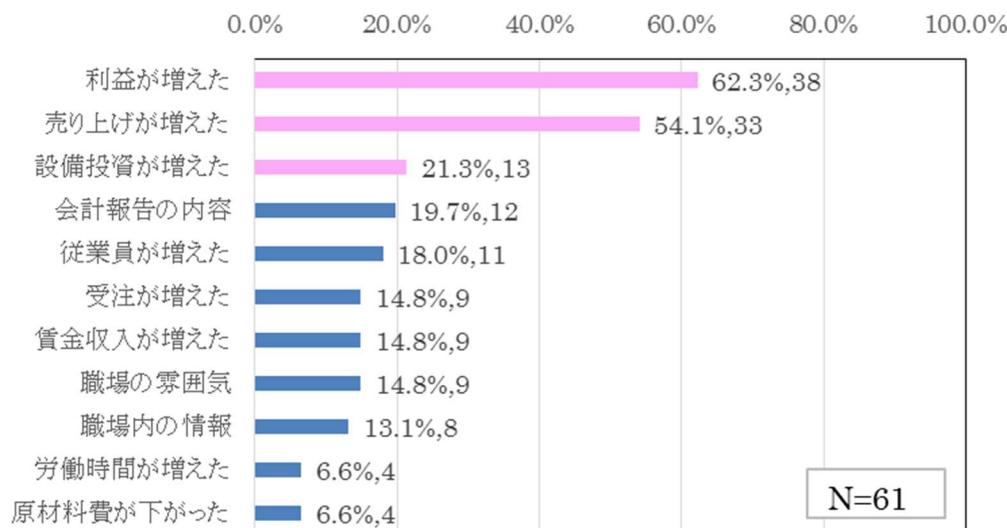
経営状況DI

「良くなったと思う(%)」-「悪くなかったと思う(%)」

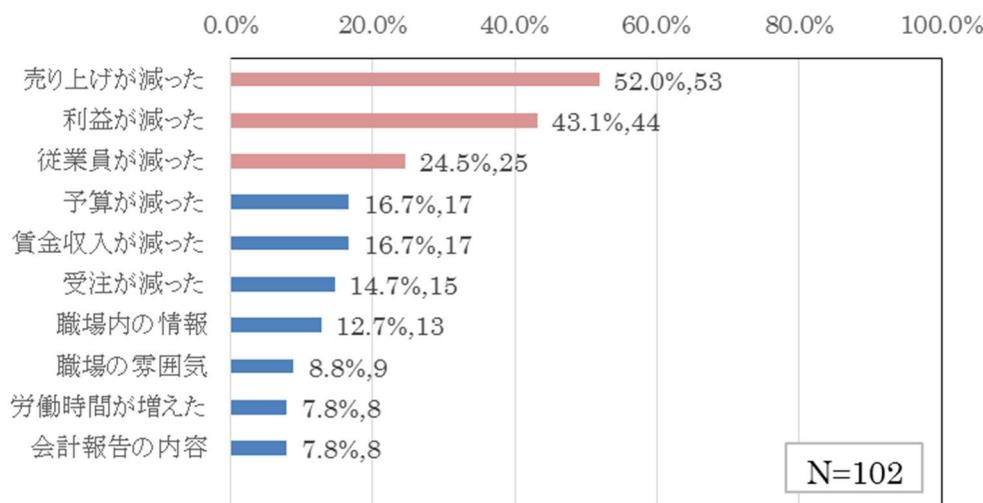


(注)全業種は、民間(製造業)、民間(非製造業)、公務員、その他(医療、福祉団体等)からなる。

問1-1 業況が「良くなつたと思う」理由 上位10位



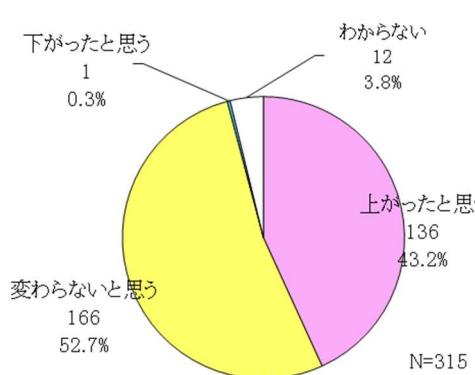
問1-1' 業況が「悪くなつたと思う」理由 上位10位



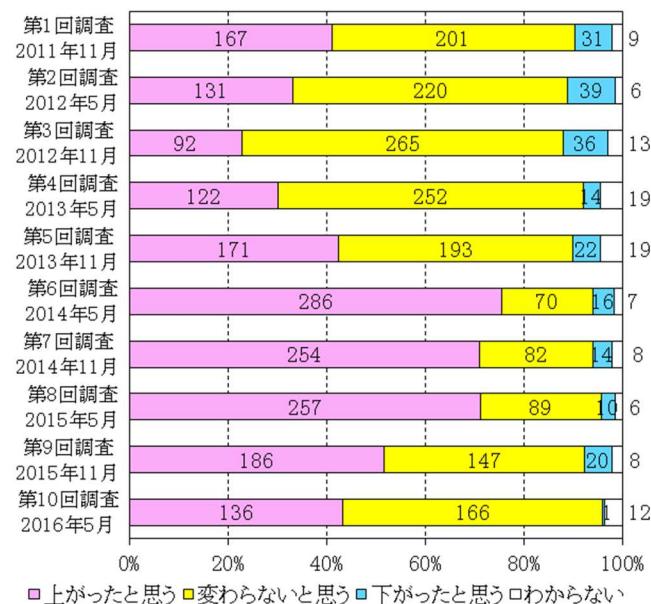
2. 身の回りの物価

1年前と比べた「身の回りの物価」については、「上がったと思う」の割合が前回調査（2015年11月調査）に続いて減少し、全体でみた身の回り物価DIはやや下落した（3.1ポイント下落）。県内勤労者の、消費税率引き上げ以降の物価上昇感は落ちつきつつある。

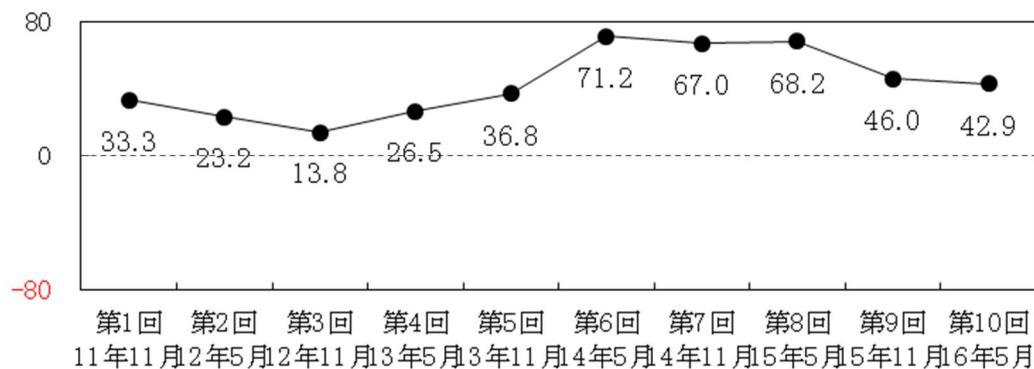
問2 日常生活に関連した商品やサービスの価格
(1年前と比べて)



問2 日常生活に関連した商品やサービスの価格(1年前と比べて)



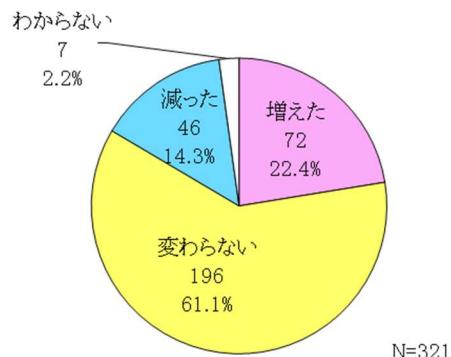
身の回り物価DI
「上がったと思う(%)」-「下がったと思う(%)」



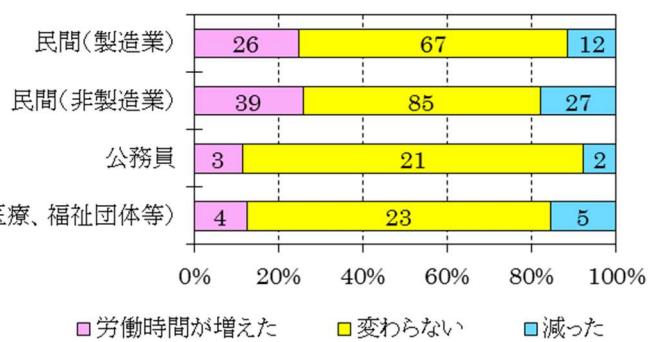
3. 実労働時間

最近の実労働時間については、「増えた」とする割合が微増し、「減った」の割合が減少。全体でみた労働時間DIはやや上昇した（3.9ポイント上昇）。

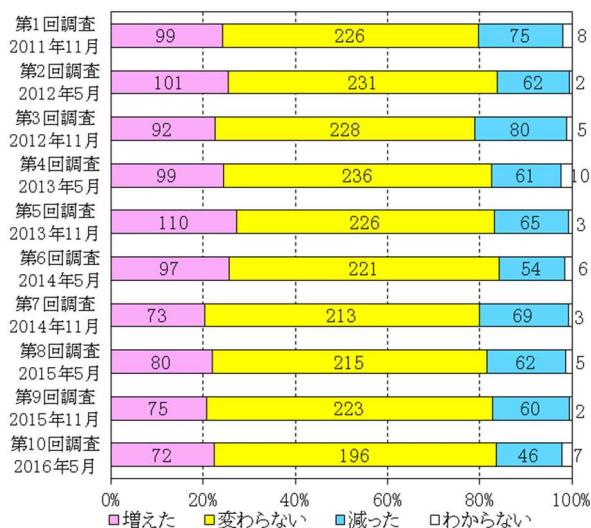
**問3 最近の実労働時間(残業・休日出勤を含む)
(1年前と比べて)**



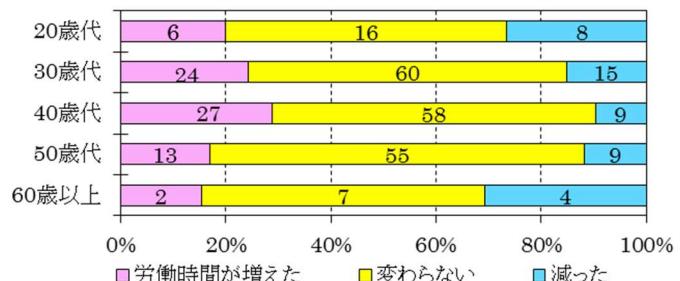
業種別にみた労働時間の変化(1年前と比べて)



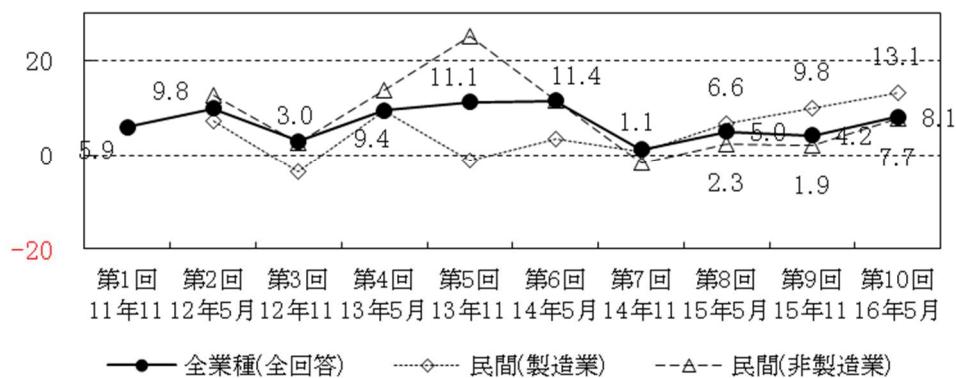
**問3 最近の実労働時間
(全業種、残業・休日出勤を含む、1年前と比べて)**



年齢別に見た労働時間の変化(1年前と比べて)



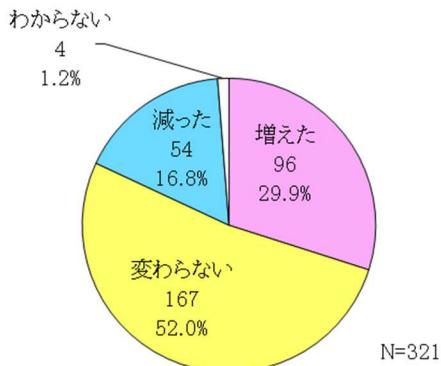
**業種別労働時間DI
(「増えた(%)」-「減った(%)」) ポイント**



4. 賃金収入

最近の賃金収入は「増えた」の割合がやや減少した。業種別では製造業で、年齢別では若い層で「増えた」とする割合が多かった。全体でみた賃金収入DIはやや下落した(3.8ポイント下落)。

問4 あなたの賃金収入
(1年前と比べて)



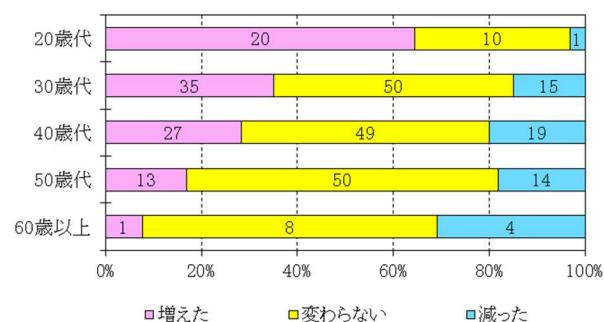
問4 あなたの賃金収入(1年前と比べて)



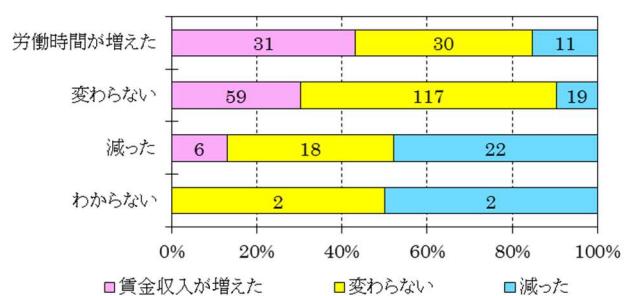
業種別にみた賃金収入の変化(1年前と比べて)



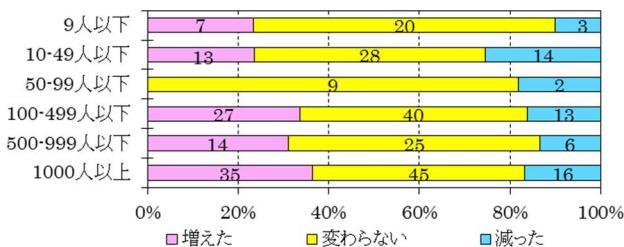
年齢別にみた賃金収入の変化(1年前と比べて)



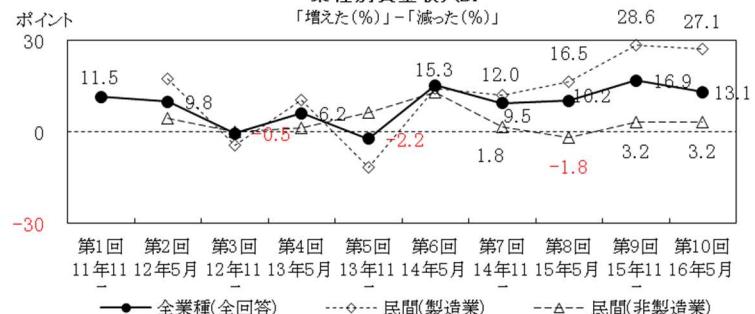
労働時間からみた賃金収入の変化(1年前と比べて)



従業員数別にみた賃金収入の変化(1年前と比べて)



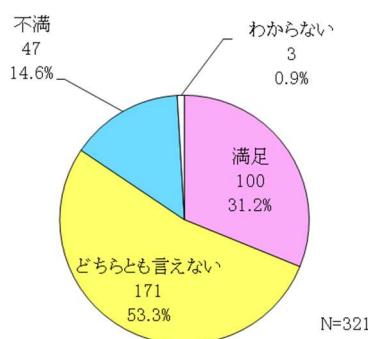
業種別賃金収入DI



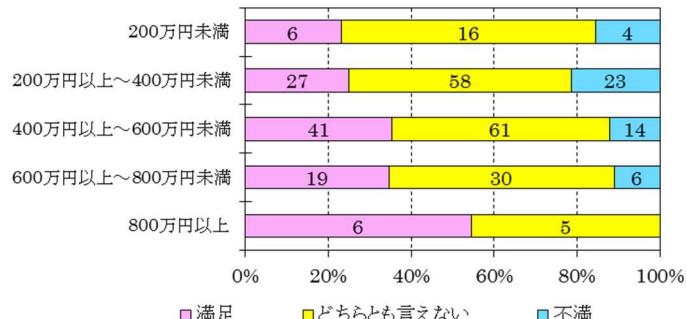
5. 勤め先の仕事の満足感

勤め先の仕事の満足感について、「満足」「不満」とともに割合が僅かに増加し、全体でみた仕事満足DIはほぼ横ばいとなった(0.7ポイント下落)。業種別では、非製造業で「満足」の割合が少ない特徴がみられ、また「仕事の満足感」と「年収」「経営状況」「賃金収入の増減」に関連性がみられた。

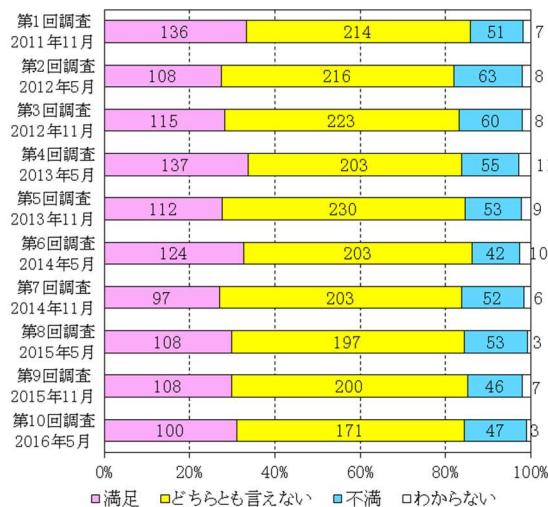
問5 仕事の満足感



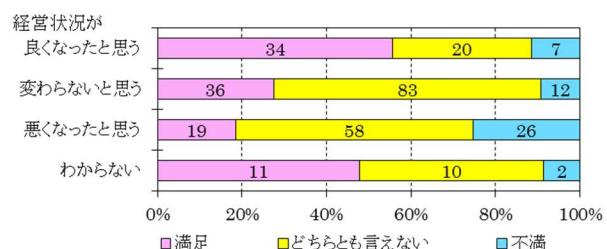
年収別にみた仕事の満足感



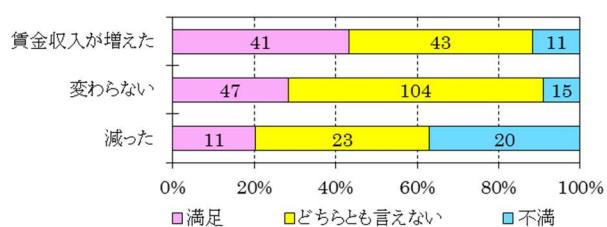
問5 仕事の満足感



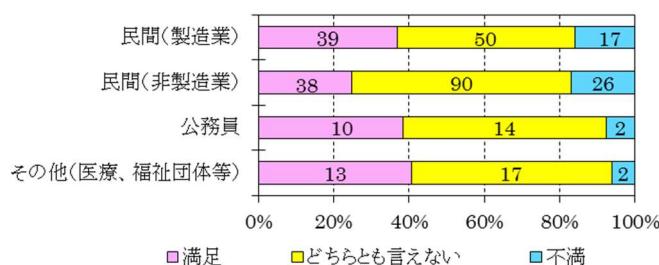
経営状況別にみた仕事の満足感



賃金収入の増減別にみた仕事の満足感

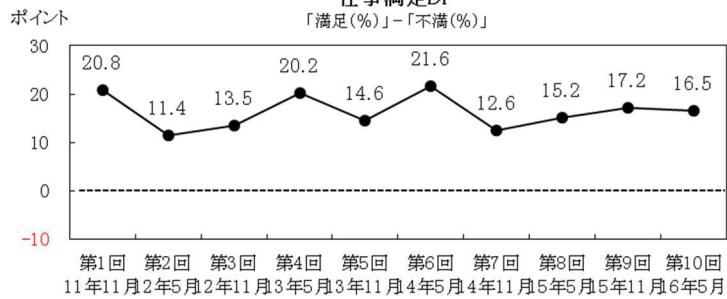


業種別にみた仕事満足度



仕事満足DI

「満足(%)」-「不満(%)」

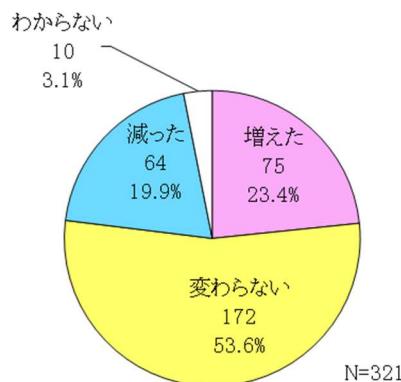


〈暮らし向きについて〉

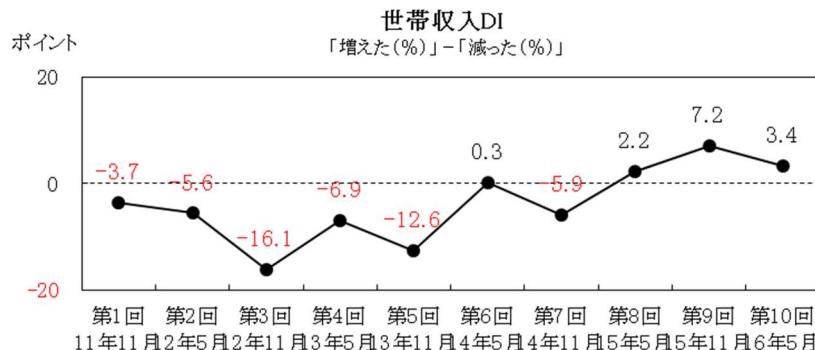
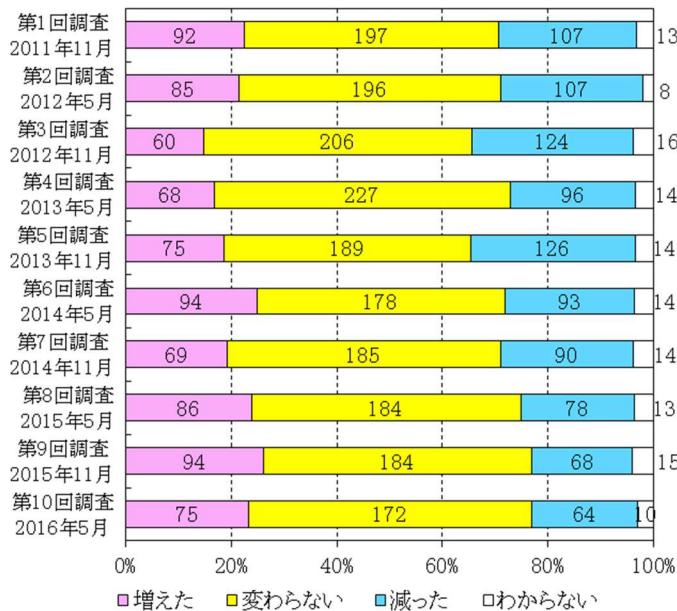
6. 世帯全体の収入

世帯全体の収入について、「増えた」の割合が微減、「減った」の割合が微増。全体でみた世帯収入DIはやや下落した（3.8ポイント下落）。

問6 世帯全体の収入(1年前と比べて)



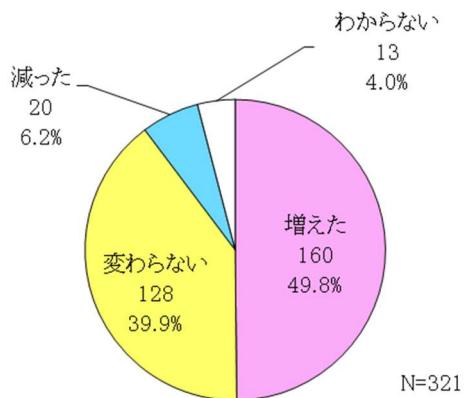
問6 世帯全体の収入(1年前と比べて)



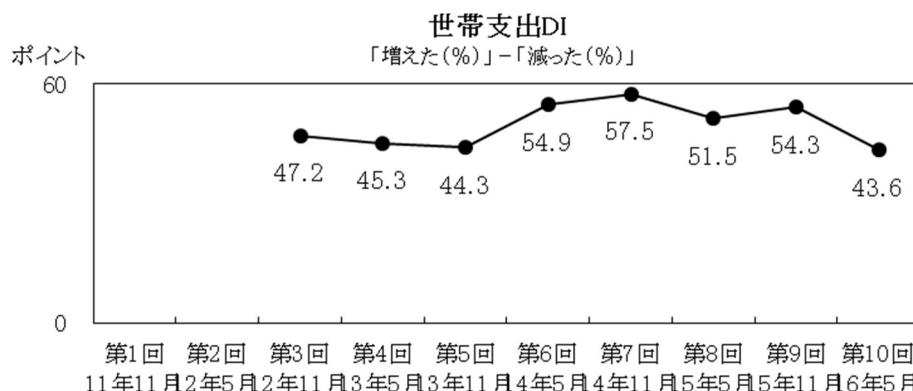
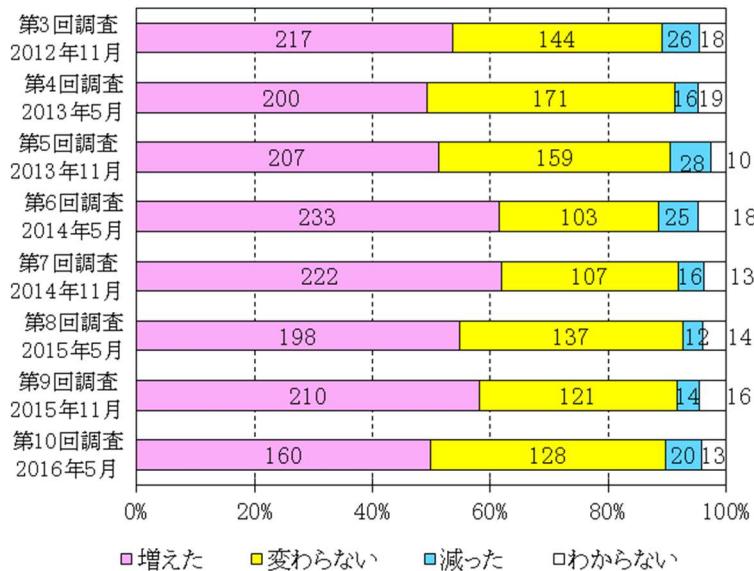
7. 世帯全体の支出

世帯全体の支出について、「増えた」の割合が減少し、全体でみた世帯支出DIは下落した(10.7ポイント下落)。

問7 世帯全体の支出(1年前と比べて)



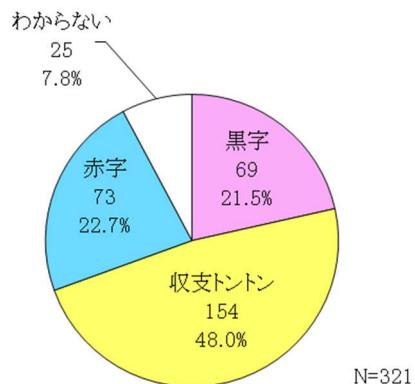
問7 世帯全体の支出(1年前と比べて)



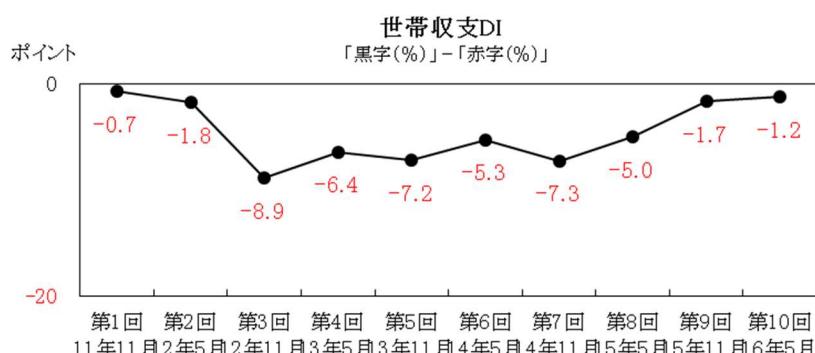
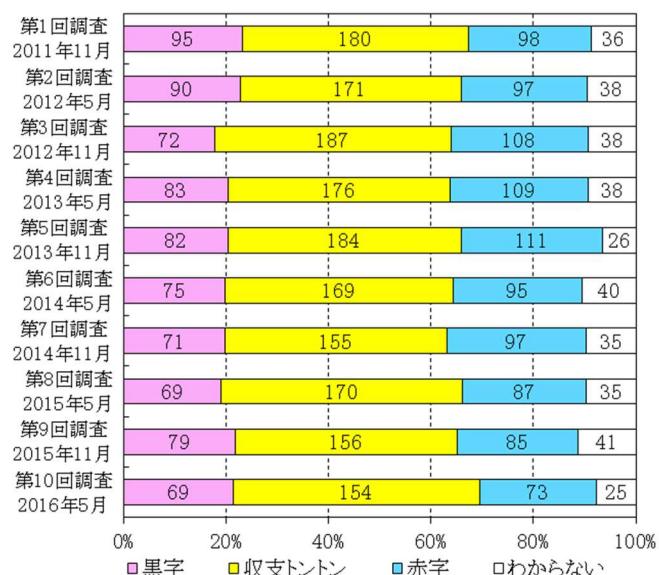
8. 世帯全体の収支

世帯全体の収支については、「黒字」「赤字」とともに割合にほぼ変化は無く、全体で見た世帯支出DIもほぼ横ばいとなつた(0.4ポイント上昇)。

問8 1年間の世帯全体の収支



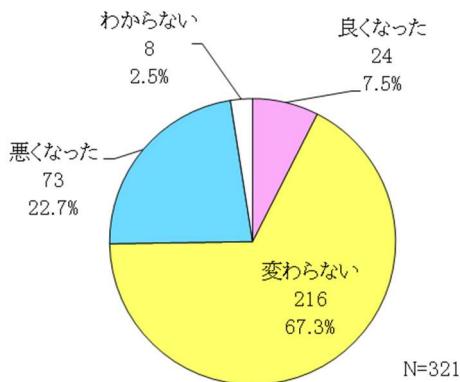
問8 1年間の世帯全体の収支



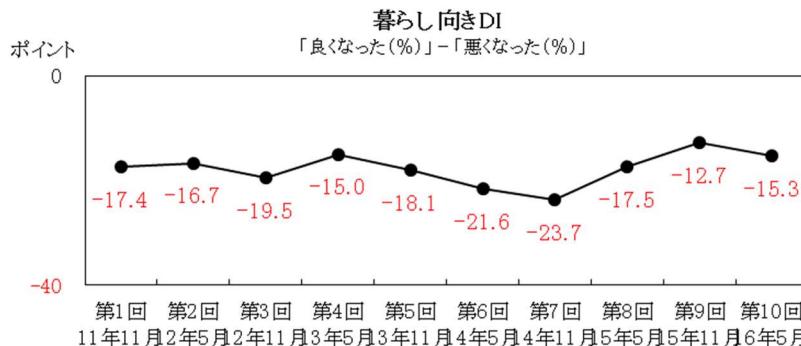
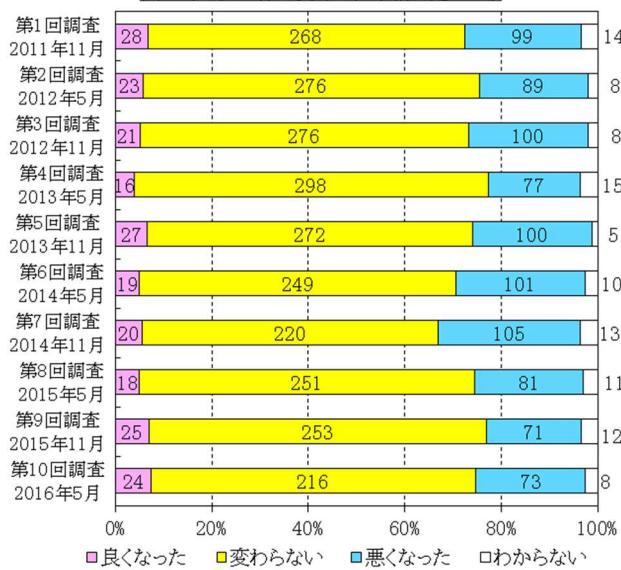
9. 世帯の暮らし向き

世帯の暮らし向きについては、「悪くなった」の割合が微増したことで、全体でみた世帯の暮らし向きDIは僅かに下落した（2.5ポイント下落）。

問9 世帯の暮らし向き(1年前と比べて)



問9 世帯の暮らし向き(1年前と比べて)



10. 生活の満足感

生活の満足感は、「満足」「不満」の割合はほぼ変わらず、全体でみた生活満足DIはほぼ横ばいとなった(1.0ポイント下落)。

これまで同様に、賃金収入の増減、世帯収支、仕事の満足感、世帯の暮らし向きとの関連性が見られる。

